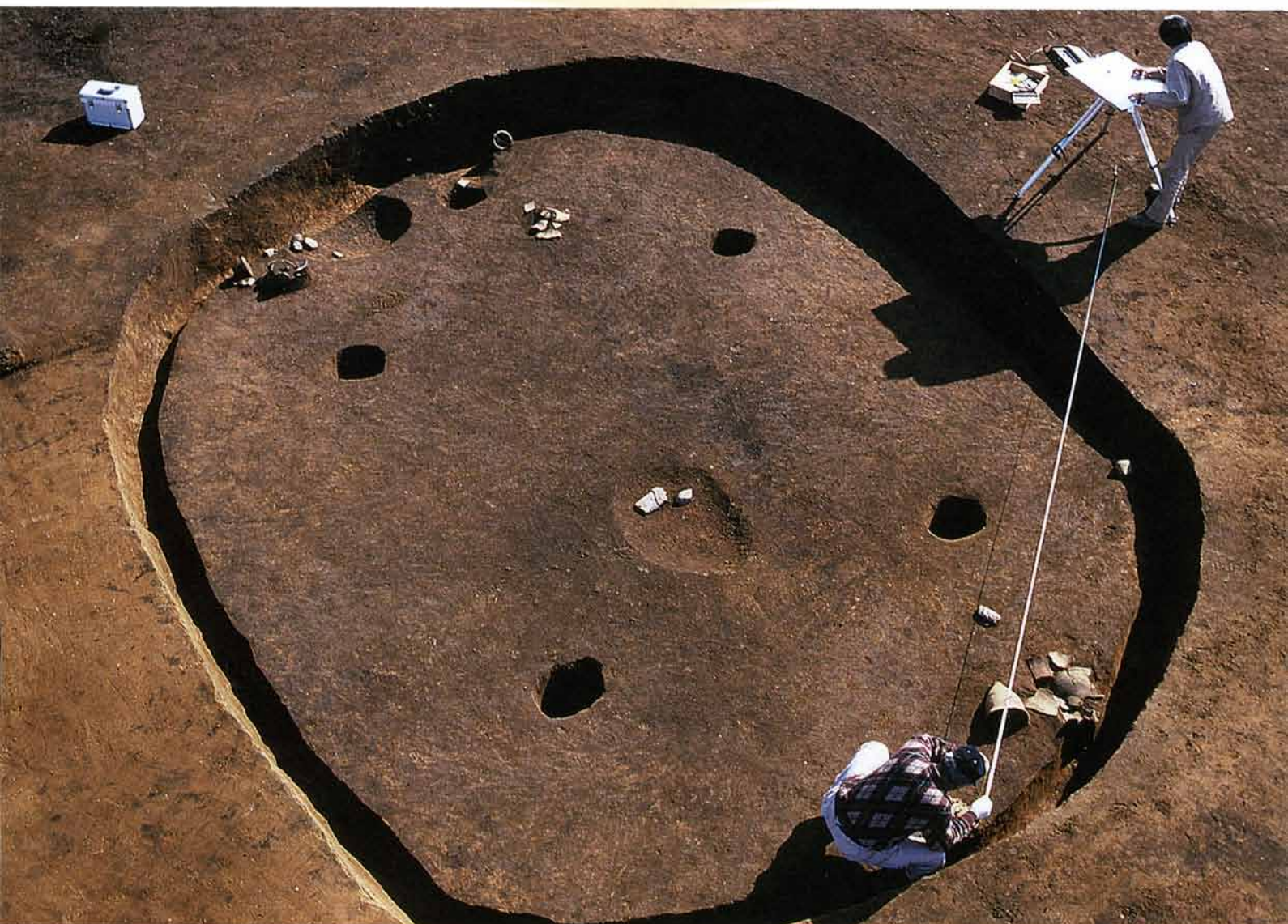


埋文よこはま22

- ▶ 大棚杉山神社遺跡の調査
成果
- ▶ 古代のおにぎり弁当!?
収蔵品紹介
- ▶ 催し物ご案内



おお だな すぎ やま じん じゃ い せき 大棚杉山神社遺跡 の調査成果

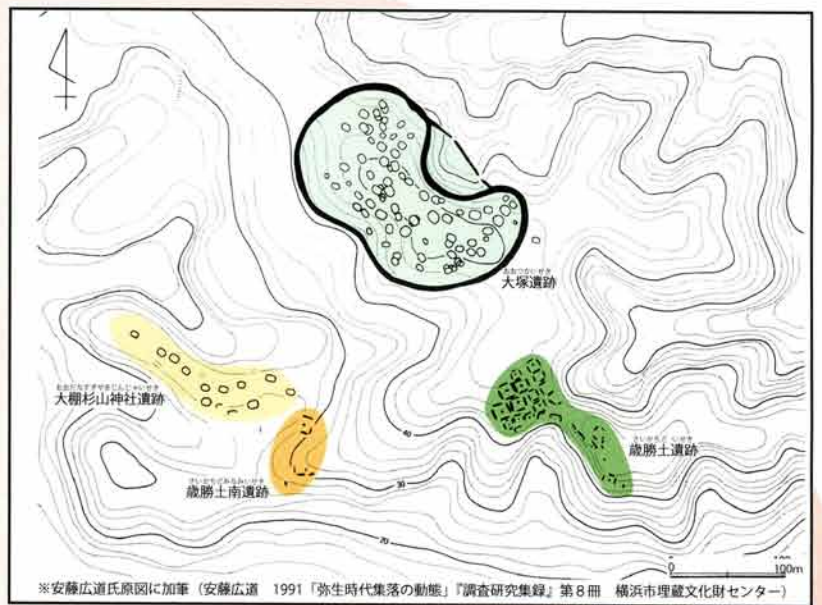
— 現横浜市歴史博物館の位置にあった弥生時代集落跡 —

横浜市歴史博物館が建っている場所は、かつて弥生時代の集落跡でした。遺跡の発掘調査は1988年を中心に行われ、弥生時代中期の集落全体の様子が明らかとされたほか、縄文時代の竪穴住居跡なども発見されています。弥生時代の集落は、史跡公園とされている大塚遺跡の弥生集落の廃絶を受ける形で経営が始められました。いわば大塚遺跡の後継者と言えます。ただ、大棚杉山神社遺跡に移住してきたのは、大塚遺跡の住人の一部で、主体は他の集落へと移り住んでいったようです。上の写真は弥生時代の住居跡の調査風景です。

→次頁へつづく

◆大塚遺跡と大榑杉山神社遺跡

弥生時代中期は、横浜で本格的な稲作農耕が開始された時代です。横浜市歴史博物館が建っている早淵川流域には、そうした時代の集落跡が集中しています。大塚遺跡はその中でも、初期に造られた集落で、いわば早淵川流域のパイオニア的存在でした。大塚遺跡は標高が高く、耕作地からも離れており、稲作には不向きな立地をしています。それは早淵川流域の開墾をめぐる、近隣集団との抗争が背景にあったためです。大塚集落はそうした抗争が一段落した頃に廃棄され、耕作地に近い低位の台地へと移り住みました。大榑杉山神社遺跡はそうした集落のひとつです。



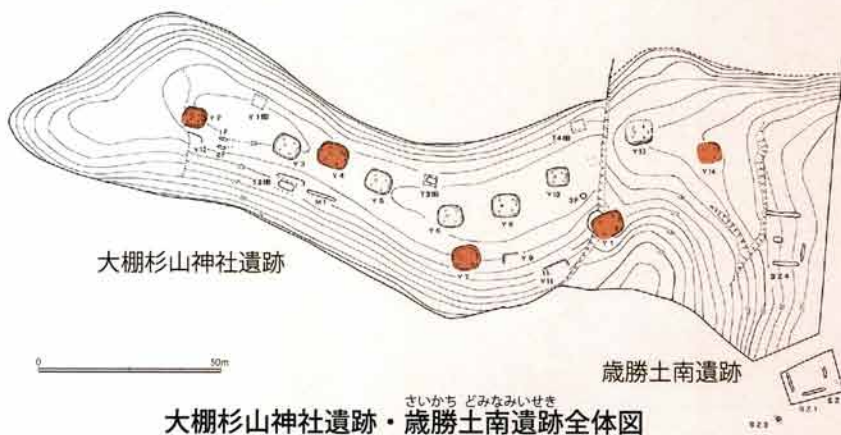
大榑杉山神社遺跡と大塚・歳勝土遺跡の位置関係



大榑杉山神社遺跡の竪穴住居跡群

◆大榑杉山神社遺跡の弥生時代中期集落跡

写真のように、竪穴住居跡はかなりの間隔を開けて発見されています。検討した結果、実際に同時に住まれた竪穴住居の間隔は、20mほども離れていたことが分かりました。写真手前の住居の場合、同時に住まれていた住居は、1軒おいて、写真の中央上に写っている住居になります。火災の延焼を防ぐ意図があったのでしょうか、住居相互の間隔はかなり開いていたのです。従って、同時に存在した住居の数は、かなり限られてきます。



ほったてばしらたてものあと
中央に掘り込みがある珍しい掘立柱建物跡



住居跡壁沿いから出土した壺と甕

大榑杉山神社遺跡の報告書刊行を記念して、12月～1月に展示・講演会を催します。詳しくは「催し物ご案内」をご覧ください。

◆集落の変遷を読み解く

大榑杉山神社遺跡で発見された弥生時代中期の竪穴住居跡は、確実なもの11軒を数えます。検討の結果、5軒の住居が建て直しや新築を繰り返して、この遺跡を残したことが分かりました。図では集落初期の住居5軒を彩色して示しました。初期の集落は中央に広場を設けていますが、東側の歳勝土南遺跡に方形周溝墓が造られるようになると、この広場は廃棄され、そこにも住居が造られるようになります。

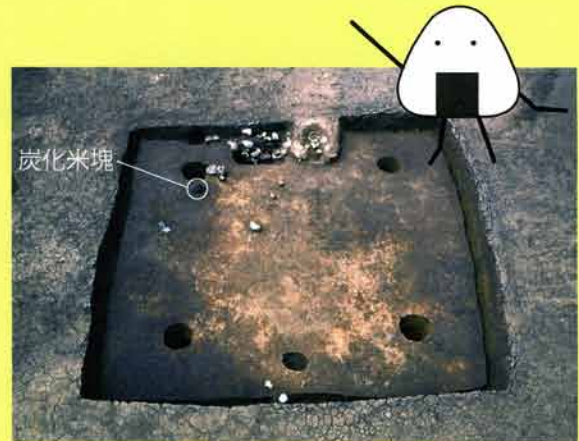
収蔵品紹介

古代のおにぎり弁当!?

港北ニュータウン遺跡群 きたがわおもて うえ 北川表の上遺跡出土の炭化米塊

●北川表の上遺跡から炭化米塊出土！

北川表の上遺跡は港北ニュータウンの造成に伴い、1983年から1987年にかけて発掘調査された遺跡で、都筑区早瀬三丁目（調査当時：港北区新吉田町）にありました。早瀬川を北側に見下ろす標高20m強の台地上に、先土器時代から平安時代にいたる、先人たちの生活の痕跡が見つかりました。竪穴住居跡は100軒以上を数える大規模な遺跡です。その中で古墳時代の竪穴住居跡は5軒のみですが、そのうちの1軒、40号住居跡から炭化米塊が出土しました。



炭化米塊が出土した40号住居跡（古墳時代後期）



炭化米塊の出土状態

●炭化米塊を観察すると…

炭化米塊の大きさは14.5×13.0cm、高さ9.2cmで、斜めに崩れてはいるものの、もともとは直方体であったと考えられます。あちこちにひびが入り、土が詰まっていますが、全体の形状がよく残っていると言えるでしょう。この米の塊をよく観察すると、底面に樹皮が張り付いていることと、底面や側面の表面に籠目の圧痕があることが分かりました。お米は隅丸方形の籠に入れられ、その下に樹皮が敷いてあったようです。さらに、お米の表面に籠目の圧痕が付くということは、お米は炊いて詰められていたと考えられます。



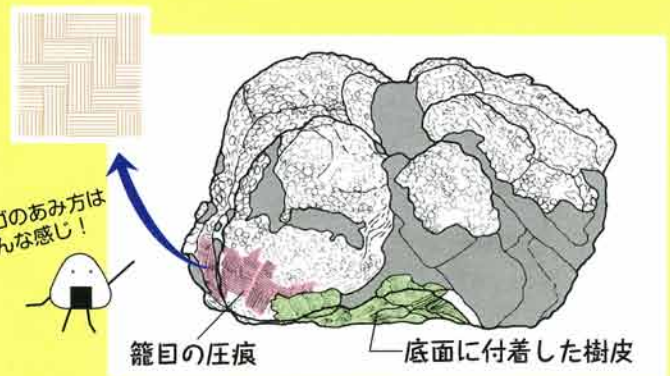
X線CT画像撮影による断面の画像

分析：
(株)パレオ・ラボ

CT画像撮影：
(株)マイクロスコピック
スキャン

●火災にあった40号住居跡

40号住居跡は7.25×7.4mの方形の竪穴住居跡で北側の奥壁にカマド1基と貯蔵穴をもつ住居でした。どうやら不慮の火災に遭ったらしく、住居の床やカマド、貯蔵穴には焼け土や炭とともに土器類や玉類、鉄器類など生活道具がそのまま残されていました。ここで紹介する炭化米塊も床面直上から出土しており、住人が床に置いたものが、そのまま火を受けて炭化したようです。



●ハイテクが明かすお弁当の中身

炊いたごはんの塊とくれば、やはり気になるのは梅干しの有無でしょうか。古墳時代に梅干しがあったかどうかはさておき、ごはん以外のものがないかどうか、今回は最新の「X線顕微CT装置」でCTスキャンをして確かめてみました。分析の結果、残念ながらおかずのようなものはなく、ごはんも雑穀などが交らない、純粋なコメであることがわかりました（ある意味贅沢）。また、左の写真のように四角く割れているようなところがあり、いくつかの塊に分けて詰められていたようです。もしかしたら、「おにぎり弁当」だったのかもしれないですね。

催し物ご案内

○展示 平成22年度「横浜の遺跡展」

稲作開始期の集落群

横浜市北部鶴見川・早渕川流域の弥生時代中期集落群を題材に最新の研究成果に基づいた弥生集落像をご紹介します。

主な展示品：大塚遺跡・大榎杉山神社遺跡・綱崎山遺跡・折本西原遺跡出土資料

◇会期：12月11日(土)～1月10日(月・祝)

◇会場：横浜市歴史博物館 企画展示室

※横浜市指定・登録文化財展と同時開催

◇観覧料：無料

関連イベント

・講演会「横浜市北部と周辺域の弥生時代中期集落群」
展示に関連して、横浜市北部域を中心に南関東の弥生集落をテーマに講演会を催します。

講師：小倉淳一（法政大学考古学研究室）

石井 寛（埋蔵文化財センター）

◇日時：1月9日(日)

13：30～16：00（13：00開場）

◇会場：横浜市歴史博物館 講堂

◇定員：150名

◇費用：500円（資料代）

◇申込：往復はがきに講演会名・住所・氏名（ふりがな）・

電話番号記入の上、右下の埋蔵文化財センター住所へ

◇締切：1月4日(火)必着

・フロアレクチャー（調査研究員による展示解説）

◇日時：12月19日(日)11：00～、14：00～

1月9日(日)11：00～

1回40分程度

◇会場：横浜市歴史博物館 企画展示室

◇費用：無料

◇定員：先着30名

○講座 平成22年度「横浜の考古学」

葬墓制から見た社会

葬墓制に関する考古資料の研究から、横浜の原始・古代の社会に迫ります。

11月11日(木)

第1回 旧石器時代～縄文時代前期 山田光洋

第2回 縄文時代中期～晩期 石井 寛

11月18日(木)

第3回 弥生時代 古屋紀之

第4回 古墳時代 鈴木重信

※講師4名は当埋蔵文化財センター職員です

◇日時：11月11日・18日(木) 2日間全4回

13：30～16：00（13：00開場）

◇会場：横浜市歴史博物館 講堂

◇定員：150名（2日とも参加できる方）

◇費用：1,000円（資料代）

◇申込：往復はがきに講座名・住所・氏名（ふりがな）・
電話番号記入の上、下の埋蔵文化財センター住所へ

◇締切：11月1日(月)必着

○体験学習

たのしい勾玉づくりと拓本とり

青田石をけずって勾玉をつくり、本物の土器片を使って土器の文様を写しとります。

◇日時：第6回 12月23日(木・祝)

第7回 12月25日(土)

9：30～12：00、13：30～16：00

◇対象：小学生以上

◇会場：埋蔵文化財センター 研修室

◇定員：15名（応募超過の場合は抽選）

◇費用：400円

◇申込：FAXか往復はがきにて、体験学習名・住所・氏名（ふりがな）・電話番号・参加人数・希望する時間を記入の上、下の埋蔵文化財センターへ。必ず「埋文よこはま」を見て知った旨を明記してください。

◇応募期間：11月15日(月)～12月15日(水)

「埋文よこはま」は横浜市域で発掘調査された遺跡や出土した遺物を紹介する広報紙です。

埋蔵文化財センターのご案内

JR根岸線「港南台」駅

2番バス乗り場より神奈中バス港36・86系統「上郷ネオポリス」行き、または港40系統「栄プール」行き、「上郷ネオポリス」下車徒歩1分

京浜急行「金沢八景」駅

国道沿い1番乗り場より神奈中バス金24・25系統「上郷ネオポリス」行き、終点「上郷ネオポリス」下車 徒歩1分

・見学等の施設利用は、平日の9～17時となっています（受付16時まで）。

・施設利用にあたっては、事前にご連絡ください。

埋文よこはま22

発行日 2010年8月31日

編集・発行 財団法人 横浜市ふるさと歴史財団

埋蔵文化財センター

〒247-0024 横浜市栄区野七里2-3-1

TEL. 045-890-1155

FAX. 045-891-1551